地域と学校がパートナーとなって子どもの成長を支える

コミュニティ・スクール通信

岩手県教育委員会事務局
生涯学習文化財課　地域学校連携担当
〒020-8570　岩手県盛岡市内丸 10-1
ＴＥＬ　019-629-6173
ＦＡＸ　019-629-6179
E-mail　DB0005@pref.iwate.jp

令和６年７月 24 日発行　第 35 号

コミュニティ・スクールにおける「熟議」とは・・・

県南教育事務所で実施した「熟議」体験の様子

７月３日（水）県南教育事務所管内において、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを前沢ふれあいセンター　チェリーホールを会場に開催し県外や県内各地より参加がありました。

県南教育事務所では、令和５年度に引き続き、皆川　雅仁　氏を講師に招き、「熟議」の必要性について示していただくとともに、「熟議」体験でのファシリテーターを務めていただき、参加者は「熟議」の効果を体験することができました。

秋田県生涯学習センター　社会教育主事
秋田大学　非常勤講師
元文部科学省　コミュニティ・スクール推進員（ＣＳマイスター）
皆川　雅仁　氏

【助言のポイント】

- 地域総ぐるみで、社会（地域）を支える人材を育成すること。（学校現場で抱え込まないこと）
- 「熟議」を活用し、地域の実情を反映させた教育課程について地域住民と共通理解を図ること。
- 「熟議」のファシリテーターは利害関係のない第三者が望ましい。（参加者が自由に意見を交流できるように）

【参加者の感想】

- **「熟議」の良さを改めて体験**することができた。**地域と想いを共有**し、スモールステップで前に進めていこうと思った。**今後の方向性を示してくださった本フォーラムに感謝したい。**
- **教育課程の見直しを「熟議」を通して行うことの必要性**を感じた。学校運営協議会の初回は、顔合わせ、説明だけで終わっていたが、**初回から「熟議」を取り入れる方向性を模索**したい。
- 「熟議」体験において、**異なる校種、職種の方と「熟議」をし、違う視点に触れる体験は新鮮**であった。**学校の統合により、地域による考えの違いなど、学校運営で難しさを感じる場面がある**。本フォーラムを受講し、解決のヒントを見い出せた気がする。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）
岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
https://manabinet.pref.iwate.jp

「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。